

〈本郷キャンパス〉
学校法人文京学院
文京学院大学外国語学部・経営学部・人間学部・保健医療技術学部／大学院／文京学院大学生涯学習センター
〒113-8668 東京都文京区向丘1-19-1
☎大 03-3814-1661 生涯 03-5684-4816
文京学院大学文京幼稚園
〒113-0023 東京都文京区向丘2-4-1
☎幼 03-3813-3771

〈ふじみ野キャンパス〉
文京学院大学人間学部・保健医療技術学部／大学院／文京学院大学ふじみ野幼稚園
〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保1196
☎大 049-261-6488 幼 049-262-3806

〈駒込キャンパス〉
文京学院大学女子高等学校／文京学院大学女子中学校
〒113-8667 東京都文京区本駒込6-18-3
☎03-3946-5301

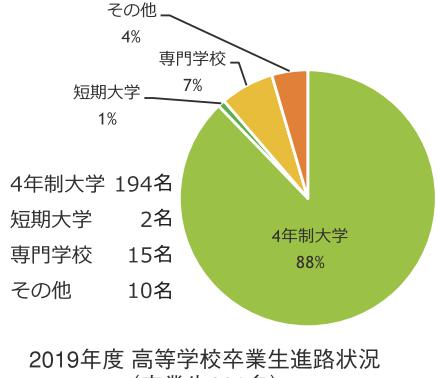


高校

特集1

2020年3月大学等進路結果

卒業生進路内訳



進路支援部の酒井陽部長
・教諭は、進路結果を次のように分析しています。

予備校などの分析によると、令和2年度入試は、前年度の弱気な出願動向(いわゆる「安全志向」)により、難易度を下げて大学に進学した受験生が多く、これにより既卒受験生が減少したことと加えて、令和3年度入試で予定される大きな改革への不安から、前年度以上に中堅校のAO・推薦入試といった特別選抜入試を利用して大学進学を決定した受験生が多かったとされます。

一方で、本校では大きな変化ではなく、それぞれの所属するコース・クラスの特性に応じて、第一志望の学校への合格を目指しました。



酒井部長

文京学院大学女子高等学校における2020年の進路状況が発表されました。本校が取り組む「理数キャリアコース」「国際教養コース」「スポーツ科学コース」のコース制により、生徒たちが個々の能力を最大限に伸ばし、未来へ続く進路を選択した例を紹介します。

文

部

科

学

考

え

る

よ

う

な

く

さ

う

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

特集③ 高い国家試験合格率

保健医療技術学部の4つの学科国家試験と、人間学部の社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士国家試験において、本学の結果は全国平均を上回りました。結果分析は、両学部長です。



保健医療技術学部長・教授
川良徳弘

令和元年度卒業生の国家試験受験の結果を踏まえて、本学の取り組み、そして将来の展望について紹介させていただきます。

理学療法士、作業療法士、臨床検査技師、看護師ならびに保健師の国家試験合格者数(率)は、それぞれ88名(96.7%)、37名(100%)、68名(89.5%)、69名(100%)、10名(100%)でした。合格率はいずれも全国平均を上回ることができました(93.2%、94.2%、83.1%、94.7%、96.3%)。

作業療法士は4年ぶり、看護師は第1回

生から3年連続で100%を達成しました。学生たちの自覚に基づいた学び、改善を重ね

られている教育プログラム、教員の専門的

指導、機能的な職員の支援、整備されて

いる学習環境、そして保護者の支援の賜物です。

保健医療技術学部として行う判断と活動は、常に、学生の立場、学生の成長、学生の将来を優先して行われます。学生が目指している医療職に就くために必要な国家資格を獲得し、その職に就くことは優先的課題となります。

さて、医療職に必要な知識・技能を備え



人間学部長・教授
杣島香代

人間学部で資格・免許を取得する場合、その種別によって取得方法が異なります。国から養成課程の認可を受けた課程を修了することで取得する場合(教職、保育士)、養成課程を修了し国家試験受験資格を得て受験、合格すれば取得できる場合(社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士)です。今回は、後者についてご報告させていただきます。

社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士養成課程は、人間福祉学科が有しています。2019(令和元)年度も、学生たちがそれぞれの資格取得をめざして国家試験に挑みました。そして、いずれもすばらしい結果を修めました! 合格率は、社会福祉士57.4%、介護福祉士100%、そして精神保健福祉士93.3%でした。全国合格率がそれぞれ29.3%、69.9%、62.1%であることから、本学の結果が大変優れていることがわかります。さらに、2つの資格をダブル合格した学生

ていることを保証するのは国(資格)です。一方、医療職にふさわしい人格を備えていることを保証するのは養成施設(卒業)です。これは、令和元年度本学部教員研修会で講師の福島先生(東京慈恵会医科大学教授・教育センター長)からいただいたメッセージです。本学の教員は学生たちに向かい合い、人間として誠実に、勤勉に、そして仁愛を持って行動すること

を心がけています。学生たちは、それが実践される場で、実際に経験することで、3つの校訓を意識して自らの行動規範に取り入れていくと信じています。

今、授業の仕組みが大きく変わろうとしています。新型コロナウイルス感染拡大の中で、遠隔教育が始まり、さらに、人工知能の活用が待ち構えています。とはいえ、教育の本質は変わりません。方法の変化に、我々の抱く教育の理念を適合させていく努力が求められています。

保健医療技術学部として就職し、受験者に対する合格率は88%で

あります(社福・介護2資格合格率66.6%、社福・精神2資格合格率86.7%)。

学生の努力を良い結果に結びつけることができるよう学生を支援する強力な支援体制を確立してきたことが、このような結果をもたらしたと考えられます。人間福祉学科では、国家試験特別講座を実施しています。学内外の模擬試験により学生の到達度等を把握し、苦手分野に特化した対策講座、夏季や年末年始の集中学習会などを行います。さらに、模擬試験の各科目成績下位20名には特別学習を実施します。各学生が具体的に学習課題を認識し、意欲的に取り組めるよう配慮することにより、よい結果に結びついたと言えます。

一方、実習等でよい経験をしてきた学生は、試験に対する動機付けも高まります。日頃の教育活動、実習経験が試験合格の基盤になります。試験対策を強化するだけではなく、授業の中で資格取得によるキャリアデザイン構築支援等を行うことが、合格率向上には欠かせないといえます。学生の人間性や意欲を育てる教育の在り方を今後も模索し、改善してまいります。

保健医療技術学部4学科と人間学部3学科 就職率100%を達成!



坂本修一 ふじみ野キャンパスキャリアセンター長

ふじみ野キャンパスでは人間学部コミュニケーション社会学科が3年連続児童発達学科が6年連続人間福祉学科が6年連続保健医療技術学部作業療法学科は10年連続作業療法学科は7年連続就職率100%を達成しました。学科別就職先を見ると、人間学部コミュニケーション社会学科心理学科の主な就職先は一般企業で地域連携ワークショップを通じて身で培った分野に応じて就職率を上げています。また、就職者の23%が公立保育士として就職する傾向があります。児童発達学科の主な就職先は保育所、幼稚園、小学校ですが、精神保健福祉士、介護福祉士、保健師等の資格を活かして就職

されています。保健医療技術学部は、それを一般企業で地域連携ワークショップを通じて身で培った分野に応じて就職率を上げています。また、就職者の16%が公立小学校教師として就職しました。公立保育士面接対策を含む公務員試験対策座談会も実施し、受験者に対する合格率は88%であります。人間福祉学科は施設や病院が主な就職先で、社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、保健師等の資格を活かして就職

吉村郁夫 本郷キャンパスディレクター補佐



吉村郁夫 本郷キャンパスディレクター補佐
吉村郁夫 本郷キャンパスディレクター長

企業が増え、企業規模、業界、職種によっては厳選採用となっています。このように、おこつとも必要です。更には、Web説明会やWeb面接への対応も必要で

ています。たとえば、インターンシップに積極的に参加して、境の変化に対してはこれまで以上に充分な事前準備をめら

ています。また、筆記試験対

面接を拡充するとともに、公

務員試験対面講座をスタートさ

れるなど就職支援企画の充実を

図っています。また、筆記試験対

面接を拡充するとともに、公

務員試験対面講座をスタートさ

れるなど就職支援企画の充実を

図っています。また、筆記試験対

面接を拡充するとともに、公

務員試験対面講座をスタートさ

文部科学省・厚生労働省共同調査による2019年度の全国大学卒業生就職率は98.5%でした(4月1日現在)。それに対して本学は、98.5%の高い実績を上げました。これらの結果について、両キャンパスのキャリアセンター長は次のように分析しています。

新年度から文京アミリーの一員として、園児・生徒・学生・院生たちの教育を担う新しい先生方を紹介します。

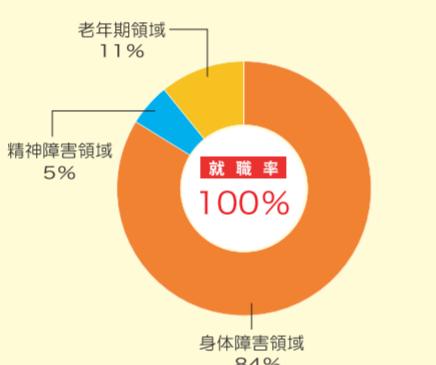
各学部卒業生就職先 業界別割合

2020年3月卒業生就職率(本学全体)

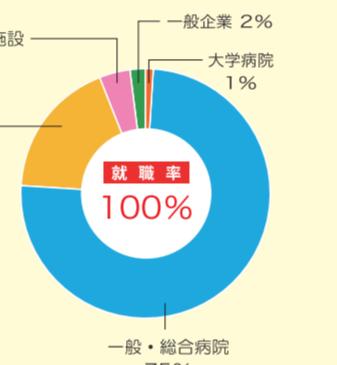
98.5% (全国平均98%)

保健医療技術学部

作業療法学科

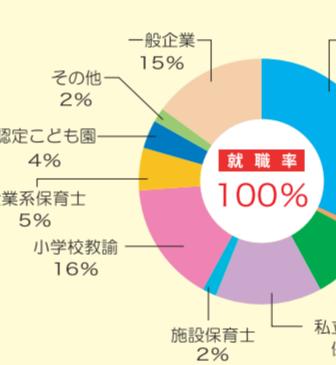


理学療法学科

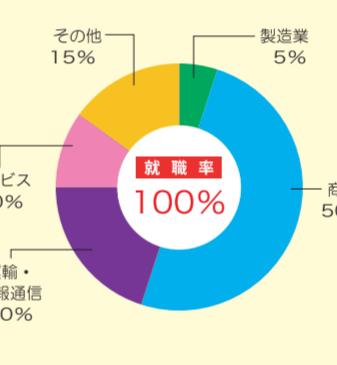


人間学部

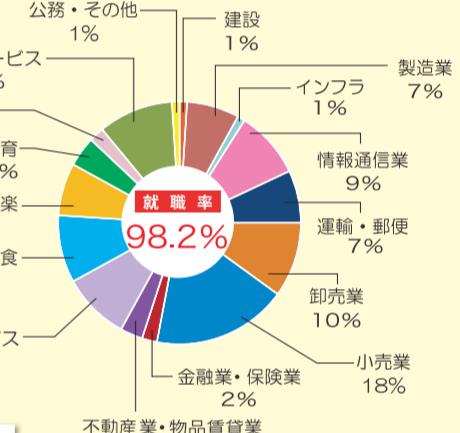
児童発達学科



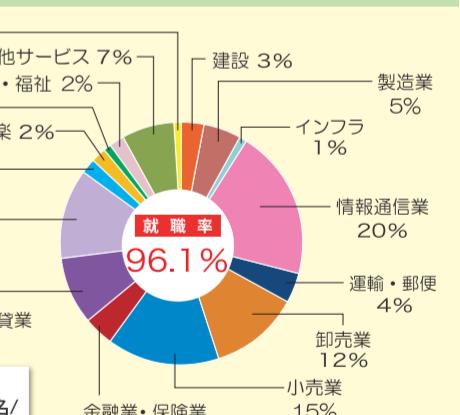
コミュニケーション社会学科



外国語学部



経営学部



経営学研究科

2019年度国家試験合格実績
保健医療技術学部・人間学部(既卒含む)

学部	資格	受験者	合格者	合格率	全国平均合格率
保健医療技術学部	理学療法士	91名	88名	96.7%	93.2%
	作業療法士	37名	37名	100%	94.2%
	臨床検査技師	76名	68名	89.5%	83.1%

大学

特集④ 実り多い「在外研究」



豊かな実りをいたいた在外研究 人間学部 人間福祉学科長・教授 森和子

2019年4月から半年間、在外研究の機会をいただき、実り多き時間を過ごすことができましたことを2点に絞ってご報告します。

1点目は、充実した研究生活ができたことです。科学研究費助成金をいただき、5月末からイギリスの養子縁組家族への支援機関や、養子縁組支援専門ソーシャルワーカーからお話をうかがうために訪問調査をしてまいりました。欧米では社会的養護が必要な子どもたちを施設ではなく、里親や養子縁組をして家庭で養育をするよう推進してきました。その中でもイギリスは、最も早い時期から社会的養護における子どもの権利について協議されてきた国といえます。

里親・養親が子どもたちと親子関係を築くまでのサポートや生みの親を知る権利も保障され、そのためのシステムが構築されていており、大いに学ばせていただきました。

その中でも印象的だったのは、バナード支援機関(Barnardo's Adoption Agency)でした。1866年に創立され、日本の児童養護施設の草分け岡山孤児院を創立した石井十次氏は、バナードホームを訪問して多大な影響を受け、帰国後日本の児童養護施設の礎を作ったそうです。

そこで資料室に案内してもらうと、部屋は18度に室温調整され、過去に在籍した全員の資料が劣化しないようにきれいに保存されていました。施設に迎え入れた子どもたちをどれほど大事に育てていたのかが伝わってきました。

9月にはインドのバンガロールで開催されたアジアパシフィックソーシャルワーク学術会議に参加し、研究発表することができました。20代で2年間留学していた国でもあり、当時とは相当様相は変わっていましたが大変懐かしく過ごすことができました。

2点目は、学位論文をまとめ名古屋大学に提出できたことです。文京学院大学に奉職す

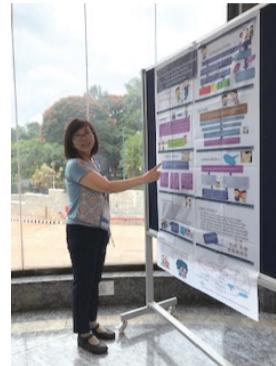


森教授

2019年度に国内外で在外研究に勤しんだ3名の先生方からのレポートを紹介します。

るまでは、児童相談所で主に里親委託のアフターケアに携わっていました。そこで出会った多くの里親さんたちと、養子縁組した後も20年以上にわたって親子になっていく過程での出来事について、継続的にインタビューしてきました。最近の調査では、出会った時に1歳から3歳だった子どもたちが現在では30歳前後となり、初めてインタビューに答えてくださいました。それらの養子さんたちと養親さんのデータをペアデータにした結果はとても感慨深いものでした。

養親さんたちは、実親から離れ乳児院で過ごしてきた子どもたちを家庭に迎え育てる過程で、委託直後や思春期には施設に返そうと思ったと語る養親さんが何人もいるほど悪戦苦闘しながら子育てをされていました。お話を伺いながら何度も胸がいっぱいになったことが知れません。一方、養子さんたちは施設に返されるなど全く思うこともなく、日々養親さんたちを親と信じて成長していました。これまで親子関係不調で里親委託や養子縁組を解消した人々は少なくありません。親も子どももどれ程の傷を負ったか想像するだけでも心が痛みます。このことからも、子育ては親の課題であると改めて認識することができました。



パネルセッションに参加

今、国は乳児院や児童養護施設などの施設養護から里親委託や養子縁組という家庭養護へと方針を転換しています。今回の結果からも、家庭養護を増やしていくための前提として、養育の節目節目で手厚い専門的な支援と、血縁によらない親子への社会の理解が成熟することが必要であることが明らかになりました。

今後は、今回の研究成果を子どもたちの幸せのために社会に働きかけていきたいと願っています。このような充実した時間を頂けましたことを心より感謝申し上げます。



最高の環境で記号力学系を対象に研究 外国語学部教授 浜正樹

私は、2019年4月より1年間、韓国の浦項工科大学校（以下、POSTECH）に在外研究のため訪問しました。浦項市は、人口50万人の中規模都市であるが、鉄鋼会社POSCOの本拠地として有名である。POSCOは韓国でも十指に入る企業で、Fortune Global500 2019でも、171位であり、POSTECHの運営も行っている。

POSTECHは、韓国の理工系大学ではKAISTと並んでランキングの高い大学である（THE世界大学ランキング2020は146位）。キャンパスは、浦項市の郊外に位置しており、広大なキャンパス内に、校舎、図書館、研究所、国際会議場、教職員・学生宿舎、食堂、娯楽施設、ホテルを有し、アジアの留学生や研究者を広く受け入れている点も特徴である。

学生達はほぼ全員が宿舎に住み、勉学に集中できるように環境が整えられている。キリスト教団体のボランティアコンサートや、クリスマスパーティーなどが行われていた。同時に、礼拜所等の様々な文化背景の研究者や学生への配慮もなされている。また、自然に恵まれたキャンパスであり、早朝にはしばしばリスに出会うことがあった。驚いたことに小鹿に出会ったこともあります。

研究環境としても大変優れており、年間を通して研究に没頭できた。8月には日本人研



浜教授



広大な浦項工科大学校

究者を招いたセミナーも実施した。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、私自身が講演を予定していた研究集会やPOSTECH数学科での講演が中止になってしまったのは大変に残念であった。

以下、私の研究について紹介する。分野は、記号力学系の測度力学的解析で、特に、置換規則（後述）と呼ばれる記号列生成規則から構成される記号力学系を対象としている。本稿では、有限個の文字集合をアルファベットと呼ぶことにする。置換規則は、アルファベットの有限個の元で生成された語全体の上で定義された準同型写像の一種である。著名な置換規則としては、アルファベットが $\{a, b\}$ の時、 $a \rightarrow ab, b \rightarrow a$ で定義されたフィボナッチ置換規則が知られている。

さて、ある一定の条件の下で、置換規則不变な無限語を得ることができ、そのシフト閉方上での記号力学系を構成することができる。アルファベット上の置換規則が原始的とは、この置換規則をアルファベットの元に何回か適用すると、アルファベット内の全ての文字を含むこととする。これまで、1次元原始的置換規則から生成される記号力学系については様々な研究がなされてきた。

湯浅久利氏（2007年）は、1次元非原始的置換規則（概原始的）から生成される記号力学系の上に不变測度を構成し、その一意性を示した。その後、この成果に関しては、多次元置換規則の場合に一般化した結果について Cortez 氏と Solomyak 氏によって、幾何学的条件の下で証明されたものの完全な形での証明がなされていない状態であった。私は湯浅氏のプレプリントを基に、2次元概原始的置換規則の内、内点因子条件を満たす自然な置換規則から生成される記号力学系について、無限不变測度の構成とその一意性について解析を行った。一意性の証明には、対象の測度力学系の自然切断を応用した。

最終的には、同手法では定理が証明できない例外的なクラスがあることが判明し、今後の課題である。また、今回の研究結果に関係した2次元概原始的置換規則の認識可能性問題についても寄与したいと考えている。

法とも深い関連がある。英語教授法の中で、特に私が取り組んでいるのは、語彙習得である。英語を母語とする話者は20歳までに、2万語の語彙数を習得しているといわれている。普段、日常生活の中で英語を常用していない日本のような環境で、この2万語という英単語の数は、私たち日本人にとって到底太刀打ちできない数のように思われる。

しかし、科学に裏付けされた学習語彙選定や効率的な語彙習得方法を探求することで、非言語母語話者として世界で通用することが可能となる。科学的ではない方法で取り組んでも一向に実を結ばない間違った英語学習を避けるためにも、こうした語彙学習得方法が必須となる。

在外研究の期間、私は、科研費挑戦的萌芽研究の支援も受けてイスラエルの Laufer 氏らによる仮説の観点から語彙学習タスクの研究に取り組んだ。この仮説は、語彙学習タスク要因の語彙記憶への影響を示す方程式のようなものである。その方程式は、習得すべき語彙の判断や解釈といった認知面と学ぶ必要性という非認知面の両面を心的負荷として数値化している。そしてその指標により、語彙学習タスクによる目標語彙の記憶を予測できるため、検証・実用化となれば、教員や学習者の強い味方となるはずである。

その仮説検証を目的として、私は以下の実験を行った。それは量的数据と質的数据を統合する混合研究法の手法である。また、語彙タスク実験では、授業を通して学習者たちのモチベーションを高め、より深く把握してもらうため、マインドマップのような図解や協同学習を取り入れた。先ほど応用言語学は学際的であると述べたが、この実験は、私にとって応用言語学分野外の、協同学習や混合研究法についての知識や技法を深めることとなった。まだ理解は浅いが、研究者としてだけではなく、教育者としての成長の一歩を踏み出すことができた。実際に在外研究の間のゼミの授業でもこの効果を活用することができたのである。

11月には、赤道直下に位置するインドネシアのポンティアナックを訪問した。英語教育や社会学分野の基調講演者の一人として、自身の研究の一端を、日本の英語教育事情を交えて講演した。英語学習環境においては、日本もインドネシアも英語は公用語ではないという共通点がある。しかし、大学では英語を母語とする英語教員は皆無で、インドネシア人によるイスラム教に基づく英語教育が盛んであるなど、日本の教育との明らかな違いも目のあたりにした。私はそこで知り合った大学教員と情報や意見交換をしたが、英語教育を盛り上げようとする情熱を痛いほど感じた。

私はグローバル社会に貢献したいと常日頃感じている。まだまだ研究理論の実践化など学ぶことが多いことを、この在外研究を通して改めて自覚した。そんな貴重な機会を私に与えてくださった大学に深謝すると共に、多大なご尽力をいただいた先生方や職員の方々に、心より感謝の意を伝えたい。



英語語彙タスク実験の試み 外国語学部教授 椿まゆみ

2019年10月から半年間の日本での在外研究の期間を通して、自分自身の研究者として教育者としての立ち位置を深く理解すると共に、私がこれから学ぶべきことの多さを強く自覚した。

私の専門分野は応用言語学と英語教授法である。応用言語学は、母語以外の言語の習得要因やプロセスを科学的に解明しようする、心理学、言語学、教育学をも視野に入れた学際的分野である。もう一つの私の専門である英語教授

法とも深い関連がある。英語教授法の中で、特に私が取り組んでいるのは、語彙習得である。英語を母語とする話者は20歳までに、2万語の語彙数を習得しているといわれている。普段、日常生活の中で英語を常用していない日本のような環境で、この2万語という英単語の数は、私たち日本人にとって到底太刀打ちできない数のように思われる。

しかし、科学に裏付けされた学習語彙選定や効率的な語彙習得方法を探求することで、非言語母語話者として世界で通用することが可能となる。科学的ではない方法で取り組んでも一向に実を結ばない間違った英語学習を避けるためにも、こうした語彙学習得方法が必須となる。

在外研究の期間、私は、科研費挑戦的萌芽研究の支援も受けてイスラエルの Laufer 氏らによる仮説の観点から語彙学習タスクの研究に取り組んだ。この仮説は、語彙学習タスク要因の語彙記憶への影響を示す方程式のようなものである。その方程式は、習得すべき語彙の判断や解釈といった認知面と学ぶ必要性という非認知面の両面を心的負荷として数値化している。そしてその指標により、語彙学習タスクによる目標語彙の記憶を予測できるため、検証・実用化となれば、教員や学習者の強い味方となるはずである。

その仮説検証を目的として、私は以下の実験を行った。それは量的数据と質的数据を統合する混合研究法の手法である。また、語彙タスク実験では、授業を通して学習者たちのモチベーションを高め、より深く把握してもらうため、マインドマップのような図解や協同学習を取り入れた。先ほど応用言語学は学際的であると述べたが、この実験は、私にとって応用言語学分野外の、協同学習や混合研究法についての知識や技法を深めることとなった。まだ理解は浅いが、研究者としてだけではなく、教育者としての成長の一歩を踏み出すことができた。実際に在外研究の間のゼミの授業でもこの効果を活用することができたのである。

11月には、赤道直下に位置するインドネシアのポンティアナックを訪問した。英語教育や社会学分野の基調講演者の一人として、自身の研究の一端を、日本の英語教育事情を交えて講演した。英語学習環境においては、日本もインドネシアも英語は公用語ではないという共通点がある。しかし、大学では英語を母語とする英語教員は皆無で、インドネシア人によるイスラム教に基づく英語教育が盛んであるなど、日本の教育との明らかな違いも目のあたりにした。私はそこで知り合った大学教員と情報や意見交換をしたが、英語教育を盛り上げようとする情熱を痛いほど感じた。

私はグローバル社会に貢献したいと常日頃感じている。まだまだ研究理論の実践化など学ぶことが多いことを、この在外研究を通して改めて自覚した。そんな貴重な機会を私に与えてくださった大学に深謝すると共に、多大なご尽力をいただいた先生方や職員の方々に、心より感謝の意を伝えたい。



椿教授



国際会議に臨む

